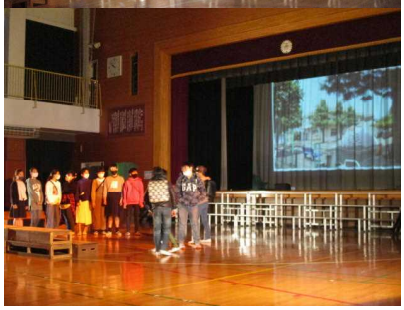
保護者の皆様へ

　いよいよ明日から学芸会本番が始まります。約１ヶ月の練習期間を経て、子供たちは最初の頃と比べて見違えるように表現力が向上しました。

　１１月に入り、朝、日計表を校長室に届けに来る子供たちの中には、自分たちの劇のことを熱心に話す姿が見られるようになりました。自分の役の説明だったり、観てほしいところの説明だったり。練習を重ねながら、自分たちの劇へのこだわりが芽生えてきたようです。本番では練習してきたことしか出せません。どれだけ自分なりに課題意識をもって練習してきたかが当日の演技に現れます。少しずつ緊張感が高まってきています。

　学芸会は１，２，３年生にとっては初めての経験です。見たこともなければ、演じたこともありません。この経験を通して、役になりきる楽しさ、演じる楽しさをぜひ感じてほしいです。高学年は、一人で歌う場面もあります。その役を自分なりに解釈し、喜怒哀楽を表現しようとするところに、高学年ならではの演技力が発揮されています。演目も教科書で学習した教材をアレンジしたものから、劇団四季で演じられた演目まで、どの作品にも伝えたいテーマがあります。大一劇団の子供たちが、自分たちならこう表現する、そのあたりをぜひ楽しんでいただきたいです。この学芸会の行事をきっかけに、子供たちはまた大きく成長しています。

　マスクを付けての指導は先生方にとっても経験がありません。もっと大きな声を出させたくても、飛沫の心配をするとそれ以上指導できないこともあります。そんな制約の中でも、観ている人に心のこもった言葉を届けることを大切に、指導を続けてきました。子供たちと先生達が作り上げた作品をぜひお楽しみください。いよいよ明日上演です。



令和３年１２月２日

大森第一小学校　校長　尾上　健二